

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 1 区分  
【発行日】令和 7 年 3 月 18 日(2025.3.18)

【国際公開番号】WO2022/190018  
【公表番号】特表 2024-509241(P2024-509241A)  
【公表日】令和 6 年 2 月 29 日(2024.2.29)  
【年通号数】公開公報(特許)2024-038  
【出願番号】特願 2023-554813(P2023-554813)  
【国際特許分類】

10

C 1 2 N 15/11(2006.01)  
C 0 7 K 14/00(2006.01)  
C 1 2 N 15/62(2006.01)  
C 0 7 K 19/00(2006.01)  
A 6 1 K 38/16(2006.01)  
A 6 1 K 48/00(2006.01)  
A 6 1 K 47/65(2017.01)  
A 6 1 P 35/00(2006.01)  
A 6 1 P 35/02(2006.01)

【F I】

20

C 1 2 N 15/11            Z  
C 0 7 K 14/00            Z N A  
C 1 2 N 15/62            Z  
C 0 7 K 19/00  
A 6 1 K 38/16  
A 6 1 K 48/00  
A 6 1 K 47/65  
A 6 1 P 35/00  
A 6 1 P 35/02

30

【手続補正書】  
【提出日】令和 7 年 3 月 10 日(2025.3.10)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更

【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

アンキリン反復ドメインを含む組換え結合タンパク質であって、前記アンキリン反復ドメインが、ヒト C D 1 2 3 に対して結合特異性を有し、前記アンキリン反復ドメインが、配列番号 1 ~ 9 及び配列番号 55 ~ 57 のいずれか 1 つと少なくとも 85 % のアミノ酸配列同一性を有するアミノ酸配列を含む、組換え結合タンパク質。

40

【請求項 2】

前記アンキリン反復ドメインが、P B S 中のヒト C D 1 2 3 に、約 150 nM 未満の解離定数 (K<sub>D</sub>) で、任意選択で約 5 pM ~ 約 150 nM の範囲内で結合する、及び / 又は前記アンキリン反復ドメインが、約 0.1 nM ~ 約 100 nM の範囲にわたる E C 50 でヒト C D 1 2 3 に結合する、請求項 1 に記載の組換え結合タンパク質。

【請求項 3】

免疫細胞上に発現される標的に対する結合特異性を有する結合部分を更に含み、

50

前記免疫細胞がＴ細胞であり、免疫細胞上に発現される前記標的がＣＤ３である、請求項 1又は2に記載の組換え結合タンパク質。

【請求項 4】

免疫細胞上に発現される標的に対する結合特異性を有する前記結合部分が、ヒトＣＤ３に対する結合特異性を有するアンキリン反復ドメインである、請求項 3に記載の組換え結合タンパク質。

【請求項 5】

免疫細胞上に発現される標的に対する結合特異性を有する前記結合部分が、ヒトＣＤ３に対する結合特異性を有するアンキリン反復ドメインであり、ヒトＣＤ３に対する結合特異性を有する前記アンキリン反復ドメインが、配列番号 34～38のいずれか 1つと少なくとも 95%のアミノ酸配列同一性を有するアミノ酸配列を含むか、又はヒトＣＤ３に対して結合特異性を有する前記アンキリン反復ドメインが、配列番号 34～38のいずれか 1つのアミノ酸配列を含む、請求項 3に記載の組換え結合タンパク質。

10

【請求項 6】

ヒトＣＤ１２３に対する結合特異性を有する前記アンキリン反復ドメイン、及び免疫細胞上に発現される標的に対する結合特異性を有する前記結合部分が、ペプチドリンカーと共有結合しており、

任意選択では前記ペプチドリンカーが、プロリン - トレオニンに富むペプチドリンカーであり、

任意選択では前記ペプチドリンカーのアミノ酸配列が、1～50個のアミノ酸の長さを有する、請求項 3に記載の組換え結合タンパク質。

20

【請求項 7】

前記結合タンパク質が、半減期延長部分を更に含み、

任意選択では前記半減期延長部分が、ヒト血清アルブミンに対して結合特異性を有するアンキリン反復ドメインである、請求項 1に記載の組換え結合タンパク質。

【請求項 8】

ヒト血清アルブミンに対して結合特異性を有する前記アンキリン反復ドメインが、配列番号 31～33のいずれか 1つのアミノ酸配列と少なくとも 95%同一であるアミノ酸配列を含むか、又は

ヒト血清アルブミンに対して結合特異性を有する前記アンキリン反復ドメインが、配列番号 31～33のいずれか 1つのアミノ酸配列を含む、請求項 7に記載の組換え結合タンパク質。

30

【請求項 9】

前記結合タンパク質が、腫瘍細胞において発現される標的に対して結合特異性を有する少なくとも 1つの結合部分を更に含み、腫瘍細胞において発現される前記標的が、ヒトＣＤ１２３とは異なる、請求項 1に記載の組換え結合タンパク質。

【請求項 10】

請求項 1に記載の組換え結合タンパク質をコードする、核酸。

【請求項 11】

請求項 1に記載の組換え結合タンパク質又は請求項 10に記載の核酸、並びに薬学的に許容される担体及び / 又は希釈剤を含む、医薬組成物。

40

【請求項 12】

治療に使用するための、請求項 11に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

癌の治療に使用するための、任意選択では液性腫瘍を特徴とする癌の治療に使用するための、請求項 11に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記癌が白血病であり、任意選択で前記癌が急性骨髄性白血病である、請求項 13に記載の使用のための医薬組成物。

50